

## 能楽入門講座と粋なまち神楽坂探訪

神楽坂は、能楽堂や料亭が点在するまち。歌舞伎役者や能楽師、芸術家、芸者など粋人達が愛した着物・小物、茶道具の専門店等知られざる店などもあります。遊び心に満ちた「粋な街」を東京商工会議所の認定の地域ガイドの案内で歩きます。

### ◆ 日 時

2008年9月20日(土) 13時～16時30分

### ◆ 内容とスケジュール

- ① 13時 神楽坂通りの毘沙門天善国寺に集合(12時30分から受付開始)  
少人数でのまち歩き(牛込城跡に立つ光照寺、牛込中央通りなど)
- ② 14時～15時 能楽入門講座(矢来能楽堂)  
佐久間二郎能楽師による講座と実演、能楽堂の視察  
・「能とは何か」「能の構造～能舞台と役職～」 「能面と能装束」「謡曲の謡い方」など
- ③ 15時～16時30分 まち歩き  
赤城神社、軽子坂、かくれんぼ横丁、芸者新道などを歩いて、毘沙門天に戻ります。

### ◆ 受講料 3,600円

### ◆ 申し込み方法

受付開始 8月19日(火) 定員 50名先着順 申込締め切り 9月15日(月)  
日本文化体験交流塾ホームページ(<http://www.ijcee.com/>) からお申込ください。  
問合せ先 TEL090-1607-5099 メールアドレス info@ijcee.com

### ◆ 見所の紹介

矢来能楽堂	<p>観世九阜会は観世鍊之丞家から分家して、今年で100年を迎え、これを記念して、約2年間にわたり、矢来能楽堂・国立能楽堂(予定)にて特別公演を開催する。</p> <p>観世九阜会は神田西小川町に能舞台を建築したが、昭和20年5月の空襲により消失した。昭和27年9月に新宿区矢来町に、現在の能楽堂を再建した。席数は、300席である。毎月、定例公演を行っているほか、講座やお稽古なども行っている。</p>
	

○ 矢来能楽堂のアクセス <http://www.kanze.com/index.html>

東京メトロ東西線「神楽坂」駅2番出口（矢来口）より徒歩2分、都営地下鉄大江戸線「牛込神楽坂」駅A1出口より徒歩5分、☆新潮社別館の裏手です☆

〒162-0805 新宿区矢来町 60 番地 電話 03-3268-7311

<p>佐久間 二郎氏</p> 	<p>「能楽師」とは、シテ方（主演）、ワキ方（脇役）、狂言方、囃子方の全ての総称。佐久間氏は、1972年生まれ。観世喜之師（現矢来能楽堂当主・重要無形文化財総合指定保持者）のもとで内弟子修業後、平成10年観世流シテ方能楽師として独立。現在、矢来能楽堂を中心に全国各地での能公演に出演するほか、東京・鎌倉・横須賀・山梨市・甲府市に「謡曲・仕舞」の稽古場を持つ。平成17年4月、甲府「武田神社」にて、「薪能」を開催、1千人の観客を動員。平成18年4月国立能楽堂にて「道成寺」披露。山梨県立大学非常勤講師。謡曲・仕舞「観世流 富士の会」主宰。</p>
<p>坂本 二郎氏</p> 	<p>神楽坂のガイドのリーダー。神楽坂通りのガラス店の三代目の店主で、1級建築士でもある。長く神楽坂のまちづくりやイベントのリーダーを務め、都内でも珍しい有料のガイド制度を創設した。</p> <p>プロだけに、紹介内容の充実に努め、ホスピタリティを発揮している。今回のウォーキング・ツアーでは、ルート検討、他のガイドへのアドバイス等の全体の調整を行ってくれる。</p>

◆ 集合場所 毘沙門天

JR 飯田橋駅西口から徒歩5分

地下鉄 南北線、東西線、有楽町線、大江戸線の B3 出口から徒歩4分

